

花と木の実践養成教室

令和7年8月26日（火）

バラの栽培管理

バラの勉強を
始めましょう！



バラとは！

バラは紀元前12世紀ごろには、すでに古代ペルシャで栽培されていたといわれ、人類にもっともなじみ深い植物の一つです。薬用や香料植物として利用され始め、やがて観賞用としても栽培されるようになり、園芸植物として発展していきました。特に中国や日本のバラがヨーロッパに紹介された18世紀後半ごろから、バラの育種は飛躍的な発展を遂げ、現代バラの誕生へとつながっていきます。

バラ科バラ属に属する植物で、3分類4系統に分けられます。

バラの分類

原種・野生種
ワイルドローズ

オールドローズ

現代バラ
モダンローズ

系 統

ハイブリッドティ(HT)



大輪種

フロリバンダ(F)



房咲き中輪種

つるバラ(CL)



つる状の枝で長く伸びる

ミニバラ(Min)



小輪種

オールドローズとモダンローズ

栽培バラは、ハイブリッド・ティー系統の第一号品種「ラ・フランス」の発表は1867年で大きく分けられ、この年代以前に育成されていた系統を「オールドローズ」とし、以降に育成された系統を「モダンローズ」と呼ばれています。

ただし、育成年代で分けるのではなく、その年代を境にし、育成された系統そのものを対象とされています。

バラを知ることが、上手く育てる為には必要です！

風通しと日当たりの良い場所を好みます。
また、生育に適した温度は20℃前後で、7℃以下になると生育を休止し、4℃以下になると休眠に入ります。
また、27℃を超すと生育が悪くなります。

排水性・保水性・保肥力のある土が良く、一度利用した土だけで植え付けると連作障害(いや地)を起こします。

- * その植物に寄生する特定の害虫や病原菌が増える。
- * 作物の根っこから分泌される酸などの毒素によって、作物が自家中毒を起こす。
- * 必要な養分だけを、吸収するので養分のバランスが崩れる。

また、バラは定期的に肥料を必要とし、3月・6月・9月・12月に適量を施します。

元気な花を咲かせる為に 剪定をします！

- 春の花を咲かせる為の剪定(1月～2月)
系統によって異なりますが、剪定前の樹高の $1/2 \sim 1/3$ くらいの外芽の上で剪定します。
- 整枝・咲き柄切り(5月下旬～6月上旬)
今年伸びた枝の長さ半分くらいの所で切ります。
- 秋の花を咲かせる為の剪定(9月上旬)
10月下旬頃に咲く花が美しいので、この時期に剪定します。
(剪定後40日～45日で開花)
※近年は、気温上昇の影響で早く開花します。
剪定前の高さ $2/3$ くらいに切ります。

バラは病害虫が多く発生します！

日本の温暖な気候では、バラの生育期間が長く、病害虫が多く発生するので、年間を通してきめ細かく、的確な病害虫対策が必要となります。

バラに合った環境づくり

バラを健康に育てる

適切な薬剤の予防散布

病害虫の早期発見、早期対策